

高岡町埋蔵文化財調査報告書第37集

# 高岡町内遺跡 X

2005年3月

宮崎県高岡町教育委員会

高岡町埋蔵文化財調査報告書第37集

# 高岡町内遺跡 X

2005年3月

宮崎県高岡町教育委員会

## 序 文

高岡町は、宮崎市の近郊に位置し諸開発の増加が予想されます。高岡町教育委員会では、これらに対応するため、平成3、4年度に実施した町内遺跡詳細分布調査の成果をもとに、開発に伴う遺跡の確認を目的とした町内遺跡発掘調査を実施しております。本書は、今年度を実施したそれらの調査の報告であります。この調査が、これからの開発と埋蔵文化財保存とが共存しうるきっかけになることを希望します。

最後に、調査に御協力頂いた諸関係機関や地権者の方々に深く感謝申し上げます。

平成17年3月

高岡町教育委員会

教育長 中山 芳 教

## 例 言

1. 本書は、高岡町教育委員会が文化庁ならびに宮崎県教育委員会の補助を受けて実施した町内遺跡発掘調査の報告書である。
2. 本書は、平成16年度に実施した試掘・確認調査の報告を掲載している。
3. 橋山第2遺跡の遺跡番号は126、橋山第3遺跡の遺跡番号は127、遺物の注記はそれぞれ「遺跡番号－層位（遺構番号）－取上番号」とし、遺物の保管は高岡町教育委員会である。
4. 本書の執筆・編集は藤木晶子が行なった。

## 目 次

第 I 章 はじめに	6
第 1 節 高岡の環境	6
第 II 章 確認調査	8
第 1 節 平成16年度の調査	8
第 2 節 橋山第 3 遺跡、橋山第 2 遺跡の調査	8

## 挿図目次

第 1 図 遺跡分布図	7
第 2 図 周辺地形図	9
第 3 図 確認調査トレンチ位置図	13
第 4 図 橋山第 3 遺跡トレンチ土層柱状図 (1)	14
第 5 図 橋山第 3 遺跡トレンチ土層柱状図 (2)	15
第 6 図 橋山第 3 遺跡トレンチ土層柱状図 (3)	16
第 7 図 橋山第 3 遺跡トレンチ土層柱状図 (4)	17
第 8 図 橋山第 2 遺跡トレンチ土層柱状図 (1)	18

## 写真図版目次

図版 1 遺跡近景、作業風景	11
図版 2 橋山第 3 遺跡 (Tr 2、Tr 5、Tr 8、Tr10)	14
図版 3 橋山第 3 遺跡 (Tr13、Tr15、Tr17、Tr20)	15
図版 4 橋山第 3 遺跡 (Tr26、Tr27、Tr30、Tr33)	16
図版 5 橋山第 3 遺跡 (Tr40、Tr41、Tr44、Tr45)	17
図版 6 橋山第 2 遺跡 (Tr55、Tr56、Tr57、Tr58)	18

## 表目次

表 1 平成16年度町内遺跡調査一覧	8
表 2 橋山第 3 遺跡、橋山第 2 遺跡確認調査成果一覧表	12
表 3 報告書登録抄	19

# 第I章 はじめに

## 第1節 高岡の環境

70%以上を山林が占める高岡町は、東部に宮崎平野を眼下にし標高170m以上の台地が西部に広大に広がる。

高岡町の遺跡は、現在知られているだけで140箇所あり、それらの遺跡のほとんどは、町中央を東流する大淀川やその支流（内山川・浦之名川など）により形成された河岸段丘上に位置している。

旧石器時代では、1993年に調査を実施した向屋敷遺跡は、集石遺構と共にナイフ形石器やスクレイパーが出土している。また、近年では、高野原遺跡、永迫第2遺跡、永迫第1遺跡で始良Tn火山灰下位の調査が実施されている。

縄文時代の遺跡は、特に早期と後期の遺跡が多く知られており、早期は、橋山第1遺跡、天ヶ城跡、橋上遺跡、久木野遺跡、八久保第2遺跡、高野原遺跡、永迫第2遺跡、的野遺跡の11遺跡で、すでに発掘調査が実施されている。橋山第1遺跡は、早期と後期初頭の遺構遺物が検出された。早期は、幾形式かの集石遺構と、それに伴い、前平・塞ノ神式等の貝殻文系円筒土器や押型文土器、そして、環状石斧などが出土している。後期は、阿高系の岩崎式土器が出土している。また、多くの石錘が出土しており、当時の生活環境を知りうることができる。天ヶ城跡は、標高120mの独立した丘陵に位置し、集石遺構に伴い押型文を中心とした早期の遺物が出土している。表採資料からは、山子遺跡が以前から知られており、浦之名川上流に位置する赤木遺跡と同様に後期の貝殻条痕文土器が表採される。

弥生時代では、丹後堀遺跡や学頭遺跡があげられる。学頭遺跡は複合遺跡であり、時期は中期後半から終末までが確認されている。また、城ヶ峰遺跡では、後期の遺物が出土している。

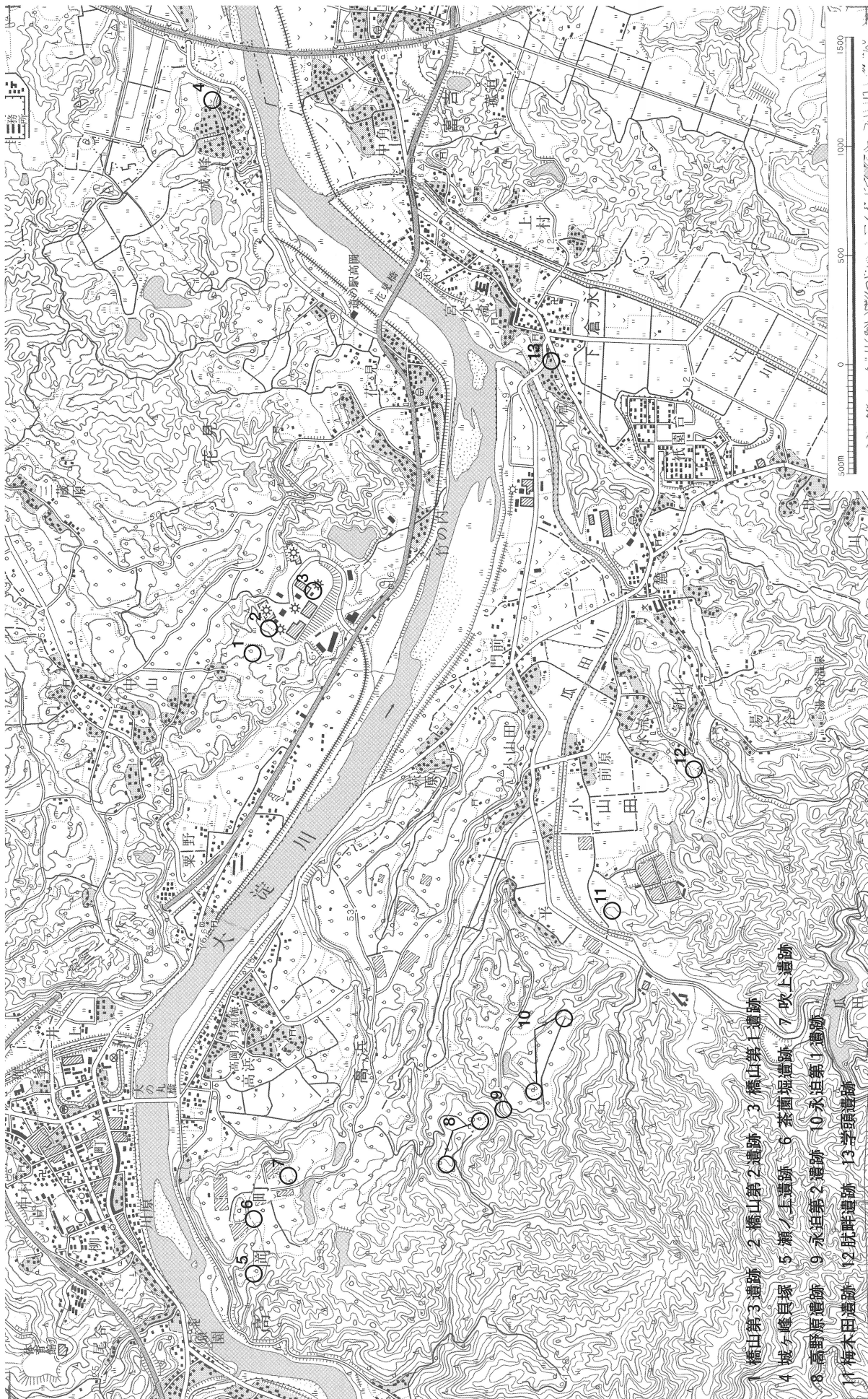
古墳時代では、久木野地下式横穴墓地群で3基の調査が行われており、1984年の調査では鉄斧と玉類が出土し6世紀前半とされている。また、学頭遺跡では初頭～前期にかけての遺物が出土し弥生時代から引き続き集落が営まれている。それに隣接した八兄遺跡でも7世紀代の住居跡が検出されている。

古代は、文献によると高岡周辺は「穆佐郷」と言われていた。古代になると、的野遺跡、宗栄司遺跡、蕨野遺跡、三生江遺跡4遺跡で調査が行われている。蕨野遺跡では、9世紀後半の土師器生産に伴う焼成土坑（窯）が検出されている。

中世では、12世紀に「島津庄穆佐院」といわれ、南北朝期を経て、島津氏と伊東氏の興亡の歴史の中に入っていく。この時代の代表的なものは山城である。南北朝期は、穆佐城が日向の中心となり足利氏の九州における勢力拡大の拠点となった。それ以後、小規模な山城が点在したと考えられ、現在10箇所以上（文献等では18箇所）を確認している。穆佐城は、縄張り調査により、南九州特有の特徴をもつとともに、機能分化をもたせた山城として評価されている。その後、穆佐城は、津島久豊（8代）・忠国（9代）の居城、伊東氏48城のひとつとなるなど両氏の勢力争いの表舞台にあった。

その穆佐城の西側の低地に在る梅木田遺跡からは、15世紀後半以前の護岸施設をもった水路が検出され、出土した杭から当時の植生を復元する試みがなされている。

この時期までの中心地が穆佐城周辺だったのに対して、近世となると天ヶ城周辺に一変する。薩摩藩は、天ヶ城（高岡郷）と穆佐城（穆佐郷）の裾地に多くの郷士を居住させた。そして、綾、倉岡とともに関外



第1図 遺跡分布図

- 1 橋山第3遺跡
- 2 橋山第2遺跡
- 3 橋山第1遺跡
- 4 城ヶ峰貝塚
- 5 瀬ノ上遺跡
- 6 茶園堀遺跡
- 7 吹上遺跡
- 8 高野原遺跡
- 9 永泊第2遺跡
- 10 永泊第1遺跡
- 11 梅木田遺跡
- 12 肌畔遺跡
- 13 学頭遺跡

四ヶ郷として、特に高岡郷はその中心として薩摩藩の東側の防御の要として発展する。高岡麓遺跡では、計画的な街路設計がなされ郷土屋敷群と町屋群に分割されている。1地点の町屋の調査では素掘の井戸や土坑等を検出した。8地点は門跡や土坑が確認されている。

## 第Ⅱ章 確認調査

### 第1節 平成16年度の調査

さて、最近の町内の傾向は、宮崎県中部農林振興局が事業主体となる農道関連の開発が増加していたが、この傾向はやや落ち着いた感がある。さらに、個人住宅などの民間開発は、景気低迷もあり横這い傾向である。

今年度の確認調査における体制は、次のとおりである。

教 育 長	中 山 芳 教
社会教育課長	小 岩 崎 正
文化財係長	島 田 正 浩
主 事	藤 木 晶 子
宮崎県文化課	和 田 理 啓

平成16年度は確認調査を1箇所2遺跡で実施した。原因は工業団地造成である。詳細は次のとおりである。

表1 平成16年度町内遺跡調査一覧

	遺 跡 名	場 所	調査区分	調査期間	原因	成 果
1	橋山第3遺跡	大字花見 2152-1外	確認調査	H16.12.13 ～12.21	工業団地造成	土層の堆積状況は良好で、縄文時代早期・前期・後期と古墳時代、古代遺物が出土したほか、縄文時代早期の集石遺構が検出された。
2	橋山第2遺跡	大字花見 2139-9外	確認調査	H16.12.21 ～12.22	工業団地造成	土層の堆積状況は良好で、縄文時代早期の遺物が出土した。

### 第2節 橋山第2遺跡、橋山第3遺跡の調査

#### 1 遺跡の立地

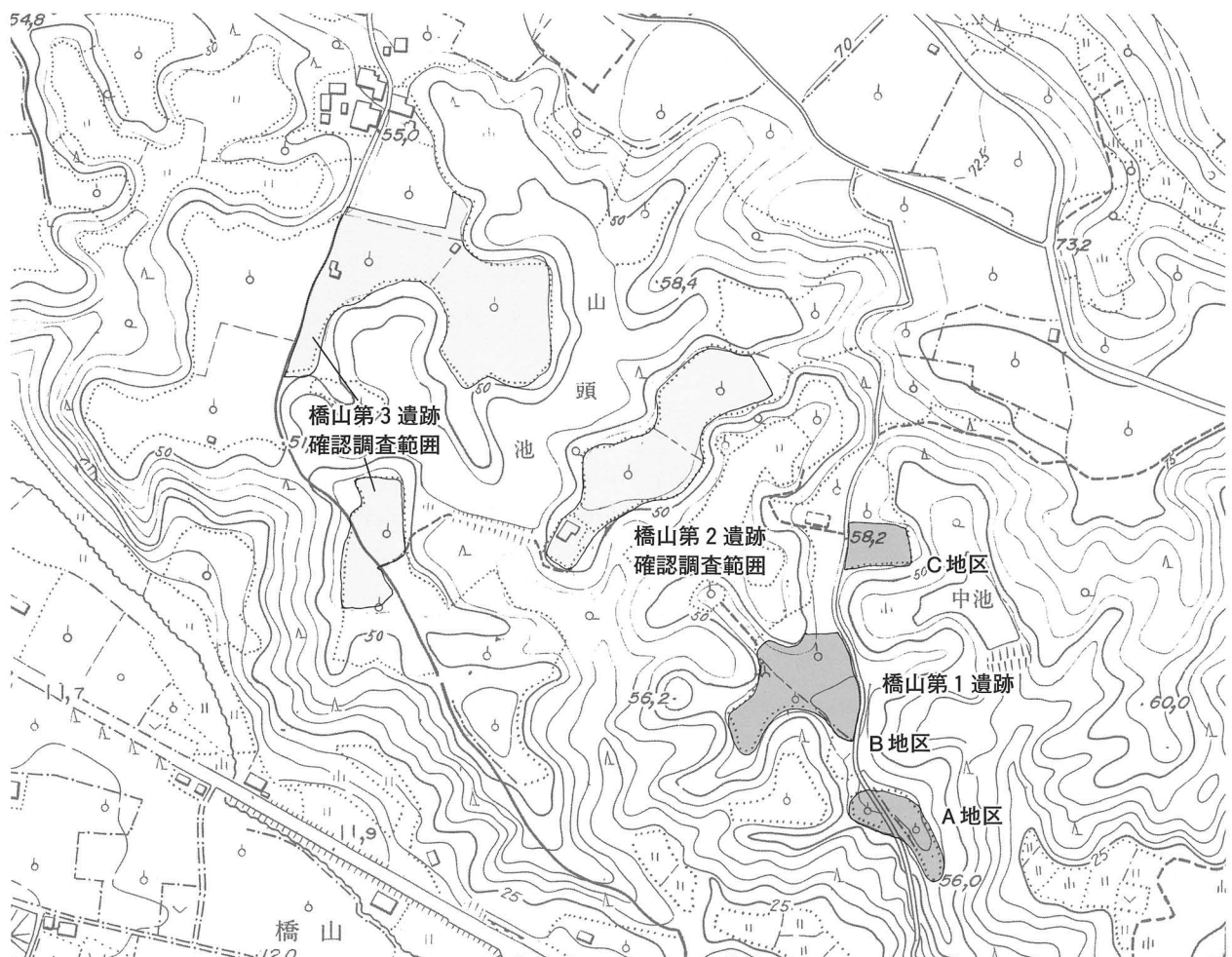
調査地は大字花見2152-1、2139-9外である。高岡町東部では、国道10号線が大淀川に沿って延びている。その国道北側にある台地上に橋山第2遺跡及び橋山第3遺跡は立地する。両遺跡の周辺は、後世の浸食によって池や谷が形成され、入り組んだ地形を呈する。そのような浸食によって形成された池の一つである「山頭池」を取り巻くように遺跡がある。池の東側が橋山第2遺跡、西側及び南側が橋山第3遺跡である。両遺跡の東側には、橋山第1遺跡が立地するが、現在は花見工業団地が建設されている。工業団



地造成にあたり、平成2年から3年にかけて、町教育委員会で発掘調査が行なわれており、橋山第1遺跡A地区及び同B地区がそれに該当する。調査では、縄文時代早期及び後期の文化層が確認されている。遺構は、縄文時代早期の集石遺構46基の他、縄文時代後期の土坑状遺構が2基検出された。さらに、平成4年度には、工業団地に近接する土地の民間開発が計画され、発掘調査を実施している。橋山第1遺跡C地区である。ここでは、縄文時代早期の文化層が確認され、集石遺構2基が検出されている。

## 2 調査経緯

平成16年6月、町企画財政課から花見工業団地増設計画に伴う工事予定地内の文化財の有無についての照会があった。町教育委員会は、そこが橋山第2遺跡及び橋山第3遺跡内であることからその旨を回答した。その後、町担当課と教育委員会とで、工事予定面積154,766㎡のうち、遺跡にかかる範囲について協議を行なった。同年11月に工事予定地が縮小することの連絡を受け、再度協議をし直した。その結果、当教育委員会で埋蔵文化財の状況確認を目的とした調査を行なうこととなった。工事予定面積は112,857㎡である。そのうち遺跡にかかる約23,000㎡の範囲内に、1～2㎡の確認トレンチを61箇所（橋山第3遺跡に48箇所、橋山第2遺跡に13箇所）設定にした。調査期間は、12月13日～12月22日である。



第2図 周辺地形図

調査は、橋山第3遺跡、橋山第2遺跡の順で行なった。確認調査範囲は、蜜柑園と雑草地に分けられる。まず、掘削作業に入る前に、雑草地のトレンチ設定箇所と駐車場・トイレの場所確保のために、雑草地の草刈りを行なった。その後、約10～15mの間隔を基本としてトレンチを設定した。雑草地は作業の効率化を図るため、重機によって表土剥ぎ及び埋め戻しを行なった。蜜柑園の中は、蜜柑の枝や果実に触れないように、比較的広い空間が確保できる箇所にトレンチを設定した。調査終了後、12月22日、24日の2日間で、遺物の洗浄及び注記の整理作業を実施した。

### 3 調査結果

土層堆積状況は、おおむね良好である。1層の表土は約20～50cm堆積する。2層はアカホヤ火山灰二次堆積層で、20～40cm堆積し、縄文時代前期や後期の遺物を包含する。3層はアカホヤ火山灰一次堆積層であり、部分的に残存している。その下に縄文早期に相当する4層牛のすねローム層（15～25cm）と5層褐色土層（30～50cm）が堆積する。その下に小林降下軽石がブロック状に入る暗褐色土層（6層約20cm）と明褐色土層（7層）がある。7層は、今調査では明確に確認されなかった。さらに8層粘質土層があり、始良Tn火山灰やシラスを含んだ層へ変わる。

このように土層の堆積状況は、高岡町内での標準的なものである。2層や3層は、蜜柑の根やゴミ穴などで破壊されている部分もあるが、台地の縁辺部を除くと、土層の堆積は安定している。6層以下はトレンチ確認箇所が少なくなり全体の状況は不明であるが、場所によって堆積状況が異なっている。

縄文早期相当層から、Tr.12とTr.27で集石遺構が検出された。また、Tr.15、Tr.33、Tr.43、Tr.44は4層や5層で多くの礫が出土し、周辺に集石遺構のある可能性が非常に高い。また、多くのトレンチで、礫が出土していることなどから、集石遺構の分布範囲は、広範囲にわたる可能性が高い。

出土遺物は、縄文時代早期が最も多く確認された。主なものに、Tr.2の5層で条痕文土器のほか、チャートと流紋岩系の剥片が出土。Tr.8の4層直上では轟1式土器が出土した。Tr.15の4層で条痕文土器、Tr.40の5層で黒耀石製の小型の石匙が出土。Tr.41の4層で瑪瑙製二次加工剥片、Tr.43の4層でサヌカイト製剥片、Tr.46では山形押形文土器やサヌカイト製剥片が出土している。早期以前の可能性が考えられるものとして、Tr.13の5層下部で流紋岩系石核が出土。

2層からは、Tr.10で縄文時代前期の曾畑式土器が出土している。Tr.47では縄文時代後期初頭の岩崎下層式土器や姫島産黒耀石が出土。また、Tr.48の2層で黒耀石や流紋岩製の二次加工剥片が出土している。

弥生時代以降の遺物として、Tr.10の2層で古墳時代の甕が出土し、Tr.54の2層土師器椀が出土した。

以上のように、今回の確認調査で、縄文時代を中心とした複数の文化層が確認された。



草刈作業



仮設トイレ設置



重機による表土剥ぎ



掘削作業風景



橋山第3遺跡近景Tr.14付近



橋山第3遺跡近景Tr.23付近



橋山第2遺跡近景Tr.52付近



遺物洗浄作業

表2 橋山第3遺跡、橋山第2遺跡確認調査成果一覧表

橋山第3遺跡

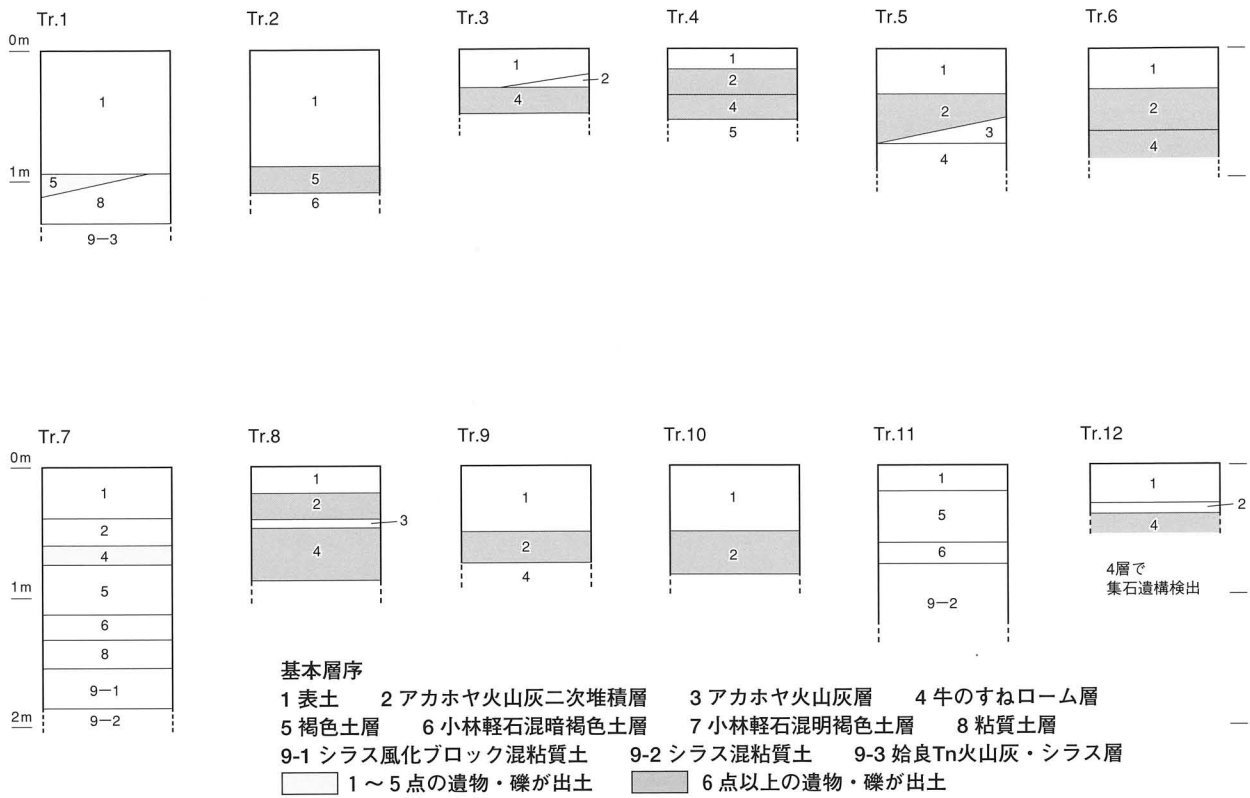
トレンチ 番号	概要	トレンチ 番号	概要
Tr.1	2～4層確認できず。5層で礫出土。	Tr.25	2層で礫1点出土。土層確認のため、深掘り。
Tr.2	2～4層確認できず。5層で土器6点,石器2点,礫出土。	Tr.26	若干南へ傾斜。2層と4層で礫出土。
Tr.3	4層で土器4点,礫多出。	Tr.27	風倒木有り。5層で礫多出。集石遺構有り。
Tr.4	2層で礫出土。4層で土器3点,礫多出。	Tr.28	2層,4層,5層で礫出土。
Tr.5	2層で土器2点出土。	Tr.29	東へ傾斜。遺構・遺物なし。
Tr.6	2層と4層で礫出土。表土で石器1点。攪乱から陶磁器出土。	Tr.30	南へ傾斜。2層,4層,5層で礫出土。
Tr.7	4層で礫出土。6層まで遺物なしの為、9-2層までスコップ掘りで土層を確認。	Tr.31	溝状の攪乱有り。5層で礫出土。
Tr.8	4層で土器1点,礫出土。4層直上で轟1式土器。2層で土器1点,石器1点,礫出土。表土で土器1点出土。	Tr.32	4層,5層で礫出土。
Tr.9	2層で礫出土。	Tr.33	4層まで攪乱多い。4層,5層で礫出土。周辺に集石有りか?表土で石器1点出土。
Tr.10	2層で土器6点,礫出土。	Tr.34	攪乱多い。遺構・遺物なし。
Tr.11	遺構・遺物なし。	Tr.35	表土と2層堆積厚い。遺構・遺物なし。
Tr.12	4層上面で、集石遺構検出。礫多数出土。	Tr.36	2層,4層,5層で礫出土。
Tr.13	5層下部で石器1点出土。	Tr.37	4層,5層で礫出土。
Tr.14	2層で礫多数出土。	Tr.38	2層,5層で礫出土。
Tr.15	風倒木によって攪乱を受ける。礫多数出土。4層より土器1点出土。周辺に集石遺構有りか?	Tr.39	風倒木有り。4層で礫出土。
Tr.16	遺構・遺物なし。	Tr.40	4層未確認。風倒木有り。2層で石器1点,礫出土。5層で土器1点,石器1点,礫多出。表土から石器1点出土。
Tr.17	2層で礫出土。	Tr.41	2層で土器4点,礫出土。4層で石器1点,礫多出。
Tr.18	遺構・遺物なし	Tr.42	2層,4層で礫多出。小型の礫が多い。
Tr.19	8割が攪乱を受けている。遺構・遺物なし。	Tr.43	北側へやや傾斜。2層で土器2点,礫1点。4層で石器1点,礫出土。5層で土器1点,石器1点礫出土。
Tr.20	表土、2層の堆積厚い。2層で礫出土。	Tr.44	2層,4層,5層で礫出土。
Tr.21	遺構・遺物なし。	Tr.45	2層,4層,5層で礫出土。5層で集石遺構有りか?
Tr.22	谷に向かい北へ傾斜。遺構・遺物なし。	Tr.46	2層で土器3点,石器1点,礫多出。
Tr.23	4層で礫出土。	Tr.47	2層で土器6点,石器1点,礫出土。4層で土器1点,礫出土。
Tr.24	2層で礫出土。	Tr.48	2層で石器1点,礫多出。4層で礫出土。

橋山第2遺跡

トレンチ 番号	概要	トレンチ 番号	概要
Tr.49	2層,4層で礫出土。	Tr.55	4層で土器1点,石器1点,礫出土。5層で礫出土。
Tr.50	北西へ傾斜。5層で礫出土。	Tr.56	2層,4層,5層で礫出土。5層で土器2点,石器1点出土。
Tr.51	2層,4層,5層で礫出土。	Tr.57	2層,4層で礫多出。4層で石器1点出土。
Tr.52	4層,5層で礫出土。	Tr.58	4層で石器1点,礫出土。5層で土器3点,礫出土。
Tr.53	4層で礫出土。	Tr.59	4層,5層で礫出土。
Tr.54	2層で土器1点,礫出土。4層で礫出土。表土から土器3点出土。	Tr.60	表土,2層の堆積厚い。2層で礫出土。
		Tr.61	4層,5層で礫出土。



第3図 確認調査トレンチ位置図



第4図 橋山第3遺跡トレンチ土層柱状図(1)



橋山第3遺跡 (Tr.2)



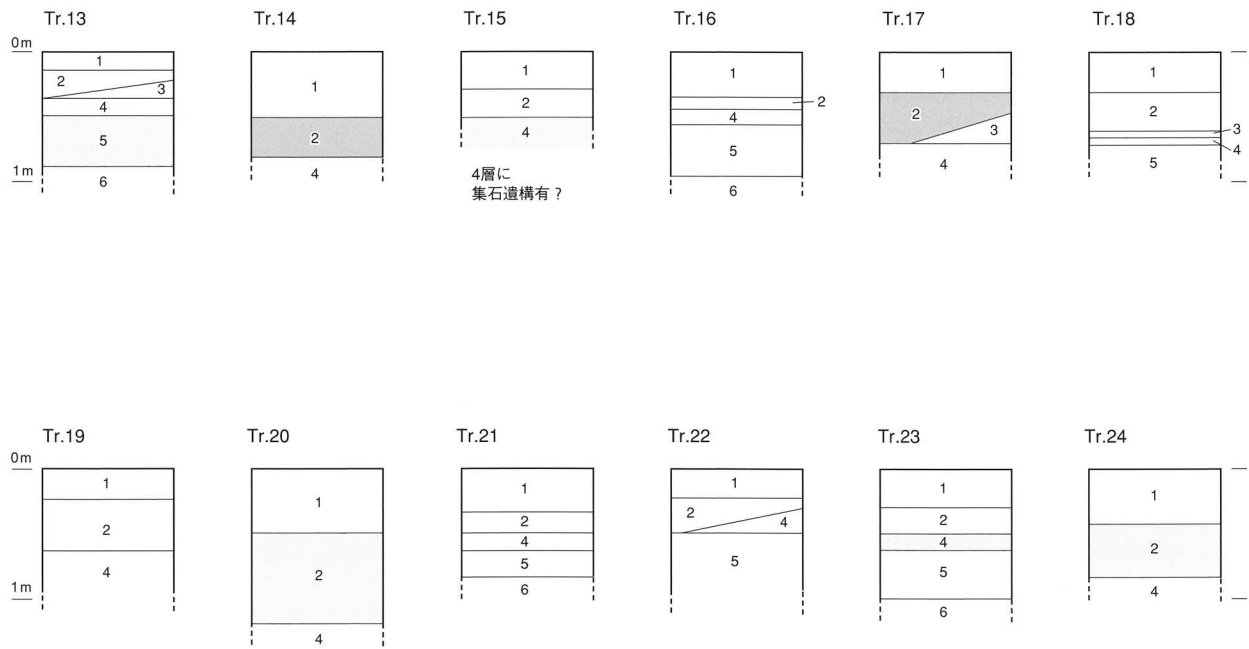
橋山第3遺跡 (Tr.5)



橋山第3遺跡 (Tr.8)



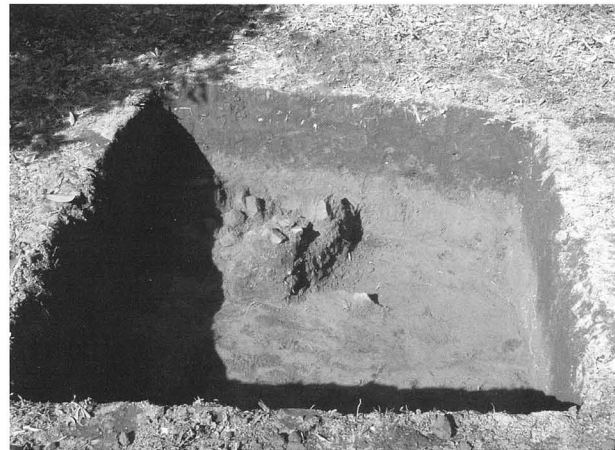
橋山第3遺跡 (Tr.10)



第5図 橋山第3遺跡トレンチ土層柱状図(2)



橋山第3遺跡 (Tr.13)



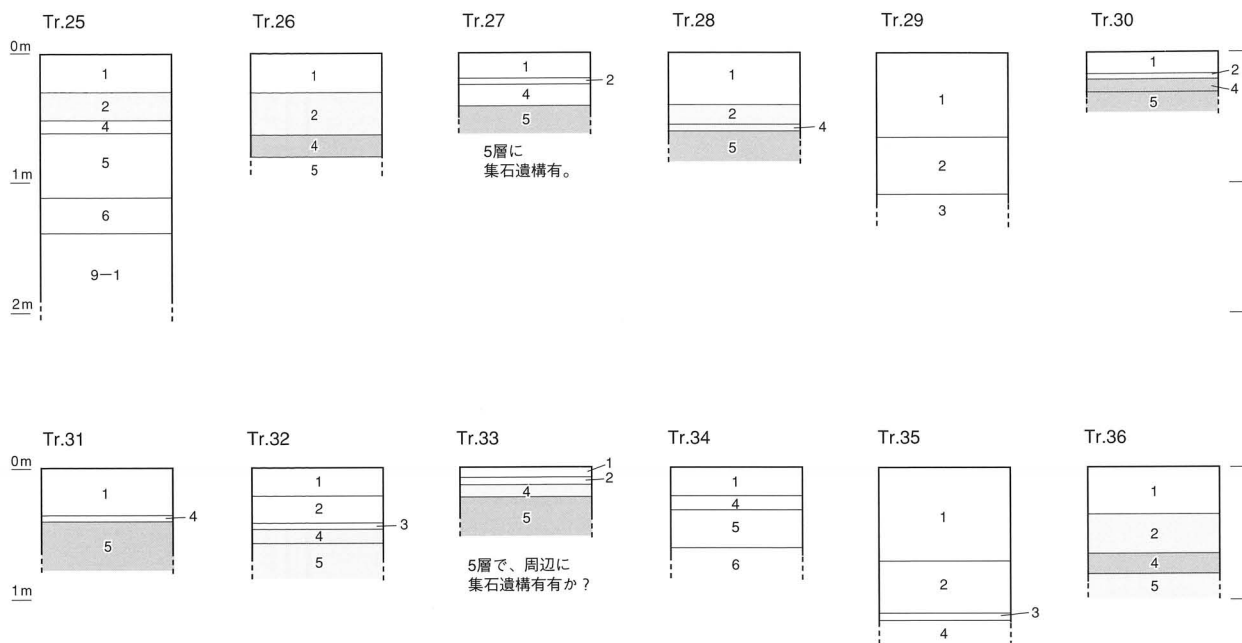
橋山第3遺跡 (Tr.15)



橋山第3遺跡 (Tr.17)



橋山第3遺跡 (Tr.20)



基本層序

- 1 表土    2 アカホヤ火山灰二次堆積層    3 アカホヤ火山灰層    4 牛のすねローム層  
 5 褐色土層    6 小林軽石混暗褐色土層    7 小林軽石混明褐色土層    8 粘質土層

9-1 シラス風化ブロック混粘質土

□ 1～5点の遺物・礫が出土    ■ 6点以上の遺物・礫が出土

第6図 橋山第3遺跡トレンチ土層柱状図(3)



橋山第3遺跡 (Tr.26)



橋山第3遺跡 (Tr.27)

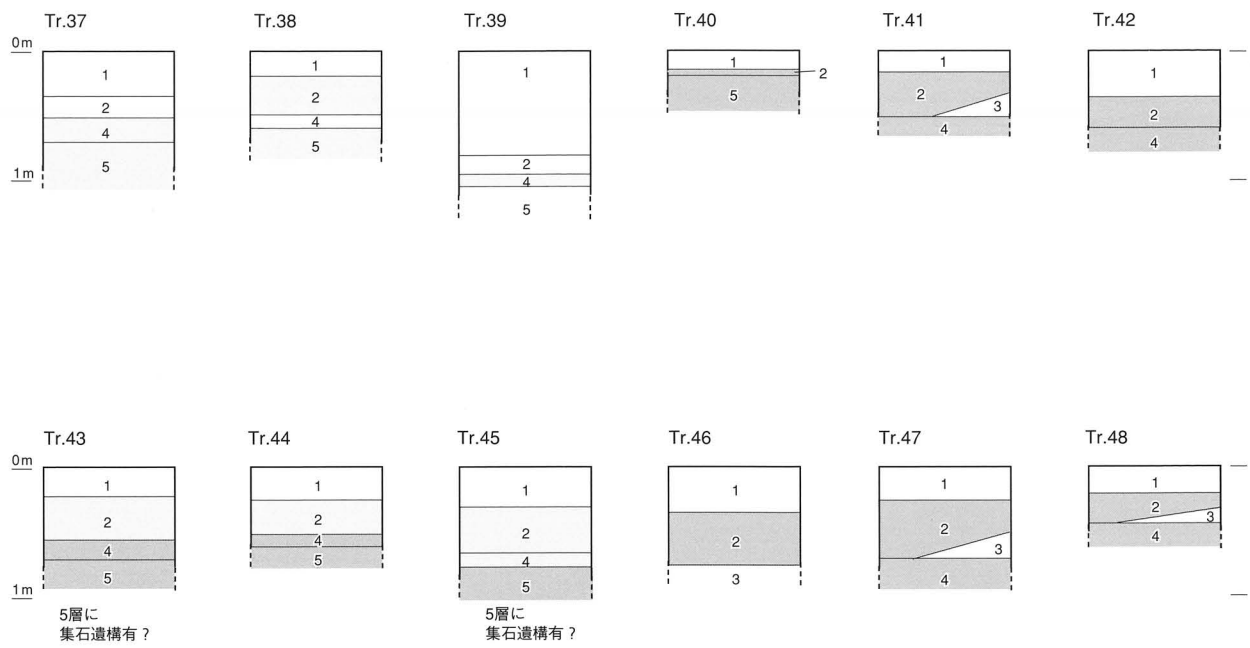


橋山第3遺跡 (Tr.30)



橋山第3遺跡 (Tr.33)





第7図 橋山第3遺跡トレンチ土層柱状図(4)



橋山第3遺跡 (Tr.40)



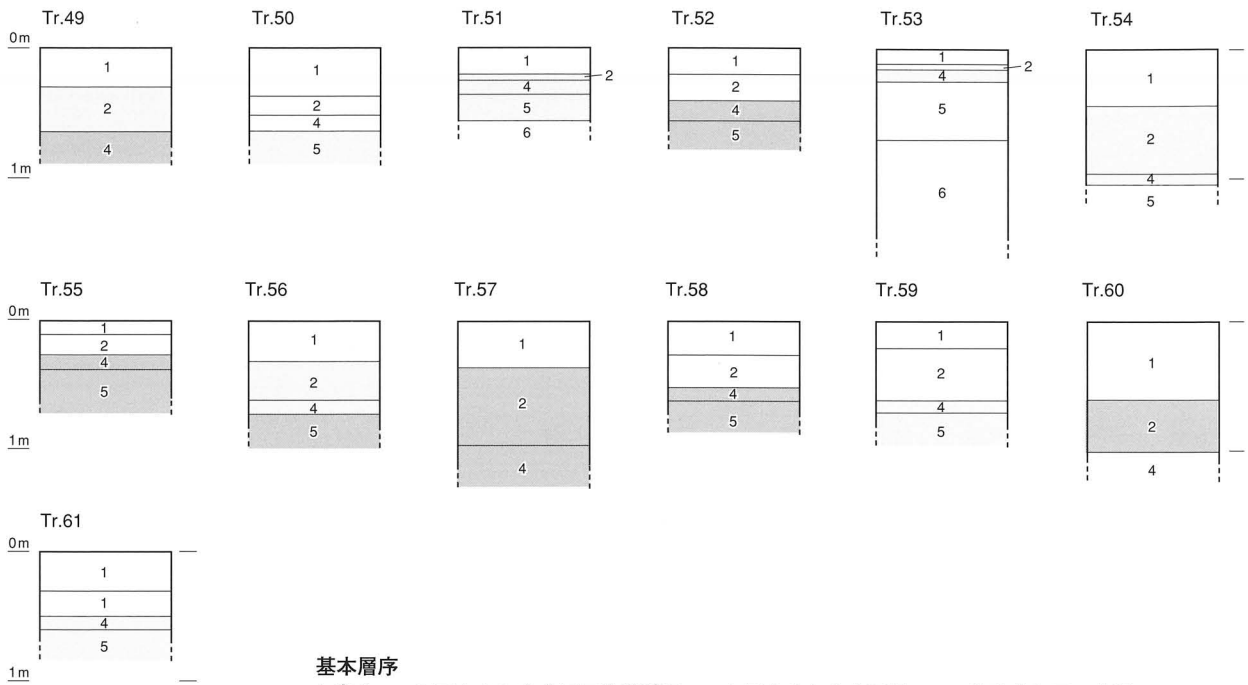
橋山第3遺跡 (Tr.41)



橋山第3遺跡 (Tr.44)



橋山第3遺跡 (Tr.45)



基本層序

1 表土    2 アカホヤ火山灰二次堆積層    3 アカホヤ火山灰層    4 牛のすねローム層  
 5 褐色土層    6 小林軽石混暗褐色土層

□ 1～5点の遺物・礫が出土    ■ 6点以上の遺物・礫が出土

第8図 橋山第2遺跡トレンチ土層柱状図(1)



橋山第2遺跡 (Tr.55)



橋山第2遺跡 (Tr.56)



橋山第2遺跡 (Tr.57)



橋山第2遺跡 (Tr.58)

表3 報告書登録抄

フリガナ	タカオカチヨウナイイセキ
書名	高岡町内遺跡X
シリーズ名	高岡町埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第37集
編集者名	藤木 晶子
発行機関	高岡町教育委員会
所在地	宮崎県東諸県郡高岡町大字内山2887番地
発行年月日	2005年3月31日

収蔵遺跡名	所在地	コード		緯度	経度	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
ほしやま 橋山第3 遺跡	高岡町大字花見 <sup>はなみ</sup> 2152-1外	45 - 381	127	31° 56'45"	131° 19'35"	H16.12.13 ~ H16.12.21	100m <sup>2</sup>	工業団地 造成
種別	主な時代	主な遺構		主な遺物			特記事項	
散布地	縄文時代早期 縄文時代前期・後期	集石遺構		縄文土器・石器				

収蔵遺跡名	所在地	コード		緯度	経度	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
ほしやま 橋山第2 遺跡	高岡町大字花見 <sup>はなみ</sup> 2139-9外	45 - 381	126	31° 56'45"	131° 19'40"	H16.12.21 ~ H16.12.22	30m <sup>2</sup>	工業団地 造成
種別	主な時代	主な遺構		主な遺物			特記事項	
散布地	縄文時代早期			縄文土器・石器				

高岡町埋蔵文化財調査報告書第37集

高岡町内遺跡 X

2005年 3 月

編集・発行 高岡町教育委員会  
〒880-2292  
宮崎県東諸県郡高岡町大字内山2887  
TEL.0985-82-1111

印 刷 合資会社愛文社印刷所  
〒880-0852  
宮崎県宮崎市高洲町222番地  
TEL.0985-28-8111